4Revs

co-creative ecosystem

共創のエコシステム

Nelis

NEXT LEADERS' INITIATIVE FOR SUSTAINABILITY

4Revs

人類の主要な「生存チャレンジ」を一世代(2020-2050)の内に解決に導く

helping humanity solve its main survival challenges in one generation (2020-2050)

Vision 1: 共創により、人類の生存課題に対する新たな解の発掘と実行
Vision 2: 参加企業のサステナビリティ・イノベーションの活性化・刺激・支援
Vision 3: 世界各地の社会起業家・優れた事業や製品等のスケールアップと普及

The 4 Survival Challenges－4つの「生存課題」

4REVS
CO-CREATIVE ECOSYSTEM

食糧 農業 タンパク質の供給

The Challenges

86億人（2030年）～112億人（2100年）の地球人口に対して、どのようにして、食品ロスを減らしつつ、十分な栄養と食糧を供給するか。

生態系を守り、健康的な農産物を提供できる持続可能な農業をどのようにして実現するか。

持続的に十分なたんぱく質をいかにして生産・供給するか。

The Opportunities

いくつかの具体例
1. 食品ロスを減らす技術・仕組
2. 持続可能な農業の取り組み
3. 持続可能な（魚の）養殖
4. 植物由来・昆虫由来の蛋白質
5. 先住民の知恵と多様な食資源の有効活用
6. より健康的な食生活と暮らし

2050年に向け、「**食**」を取り巻く多種多様な変化を先取りする。

水 水の技術 水の管理

The Challenges

水ストレスや水不足の悪化を防ぐために、水資源をどのようにして持続可能なかたちで管理するか（MITによると、2050年の世界人口の52％は水ストレスに直面するという）。

水の浄化・管理システムやその関連の技術が世界に普及し、効果的に活用されるには、どんな取り組みが必要とされるか。

The Opportunities

いくつかの具体例
1. 水源の持続可能な管理
2. 節水技術の開発と普及
3. 改良された水管理システム
4. 安価で持続可能なかたちで運用できる淡水化技術・システム
5. 浄水の技術と仕組の開発・普及

「**水**」は人類が抱えるパラドックスの一つである。この資源の持続可能かつ平等な利用を実現する。

資源 サーキュラー 生態系の活用法

The Challenges

鉱物資源・天然資源をそれぞれ、継続的に供給ができるよう、どのようにして持続可能に生産・管理するか。

汚染物質・廃棄物を最小化し、生態系の劣化を回避できるサーキュラーな社会・経済の仕組みをどのようにして築くか。

生態系の持続可能な利用法とは。

The Opportunities

いくつかの具体例
1. 持続可能な林業
2. 都市鉱山・アーバンマイニング
3. プラスチックの利用と技術に関わる取り組みと暮らしの変化
4. 資源アライアンス・資源コンソーシアムの構築
5. 生態系の保全・修復

「**資源**循環」＝サーキュラリティの実現と「**生態系**」の賢明な利用法を広める。

エネルギー 気候変動 温室効果ガス

The Challenges

増大する地球人口に対して、健康を害せず、また甚大な気候変動に寄与しないエネルギーの供給をどのようにして確保・供給するか。

経済と社会全体の脱炭素化の加速をいかにして成し遂げられるか。

気候変動によってもたらされる将来的な課題や災害に、どのように対応するか。

The Opportunities

いくつかの具体例
1. 再生可能なエネルギー供給
2. 二酸化炭素を資源として活用する
3. 省エネに貢献する暮らし、仕組、技術の開発と普及
4. 都市と農業における気候変動への革新的な適応策の実施

「**エネルギー**」は生活に必須だが、「**気候変動**」は同時に人類最大の生存脅威となっている。このジレンマを解消する。

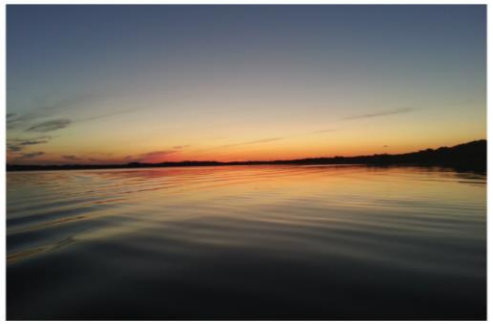
What is 4Revs?

4Revs(=4つの革命）は、人類が直面する「4つの生存チャレンジ」を解決に導くことを存在意義とするこれまでになかった共創のエコシステムである。一世代（2020～2050）にわたり活動を続け、世界各地における若手の社会起業家・社会イノベーター・サステナビリティの実践者と企業や公的組織等を結び付け、4Revsのそれぞれの分野で、次世代型のディープ・イノベーションを協働・共創により、次々に生み出していく。

4Revs Co-creative Ecosystem — 世界に広がる独自の共創プラットフォーム

6大陸における若手の社会イノベーター、社会起業家、サステナビリティの実践者のネットワークを通じて、**4 Revs イノベーションの「シーズ」**を発見・発掘

企業・公的機関の「**イノベーション・ニーズ**」および「**パートナーシップ構築**」＋「**キャパシティ・ビルディング**」**の強化**
（R&D + HRの両側面を含む）



4Revsグローバル・チーム

世界6大陸（現在約30か国強）にまたがる若手の社会イノベーター、サステナビリティの実践者、次世代リーダーのグローバル・ネットワーク（日本で設立された一般社団法人）。**NELISは、4Revs全体のグローバル事務局を提供し、各地域におけるプログラム・マネジャーによる実行チームを編成する。** www.nelisglobal.org

Socialab。コロンビアに本社を置くソーシャル・ベンチャー。現在、中南米6か国に事務所を構える。92か国から約60万人の「クリエイティブ・マインド」が登録する**オンライン・プラットフォームを活用し、イノベノベーション・チャレンジやエコシステム・ビルディング**に多面的に取り組んでいる。https://socialab.com/co/en

Salesforce.com Japanは、4Revsのテクノロジー・パートナーとして、IT面のサポートおよび4Revs事例データベースの構築で協力・参加。

Mct社（日本）デザイン思考、事業開発支援、チームビルディングなどを活動テーマとする日本のコンサルティング・ファーム。東京における4Revs事務局の基地となると同時に、4Revsの「個別ツール」の一つであるソーシャル・イノベーション・ブートキャンプの発案者でもある。 www.mctinc.jp

4Revs プログラム・マネージャー (2019年12月現在)　各大陸をカバーするリサーチチーム

米国（北米）
Katie Conlon

コロンビア (南米)
Lucas Sanchez Martinez

フィンランド (欧州／北欧)
Jovin Hurry

ベルギー (欧州／EU)
Noemi Salantiu

英国 (欧州/英国)
Puja Thiel

インド (アジア)
Shravan Shankar

ナイジェリア（アフリカ）
Felix Iziomoh

各プログラム・マネージャーは、担当地域をカバーする3名前後の4Revsリサーチャーを指揮する。20～30名の実行・リサーチチームを編成。

Project Outline

4Revsの進化—初年度 (2020.4-2021.3)

Year One: 2020.4～2021.3

① 4Revsリサーチ・プロジェクト
4Revsのそれぞれの分野における最も斬新かつ革新的な取組・活動・事業・技術などを、世界6大陸から収集、参加型のリサーチ・ギャザリングを通じて、4Revsの参加企業との双方向性セッションを展開しつつ進める。

② 4 Revsグローバル・サミット
世界6大陸から集う社会イノベーターや社会企業家とともに全体セッション、ワークショップ、ハッカソン、ピッチセッションなどを行い、直接4Revsについて議論・協働・探求する。

③ 4Revs関連の「インテリジェンス」（重要情報）
4Revsのそれぞれの分野における最新の科学的知見・データ等を集め、分かりやすく（リンクなどを通じて）共有する。

④ Next Leaders University（NLU）を通じての学習
オンライン学習プラットフォームNext Leaders' University（NLU)を通じて、生きた「サステナビリティ・リテラシー」を兼ね備えた「社内起業家」を育成する。

学びと発見

研究開発のシーズ発掘

社内起業家育成

新しいパートナーシップ構築

↓

グローバルネットワークを通じたイノベーションの深化

新しい事業機会の開発

アジャイルな共創エコシステムの構築

Project Outline

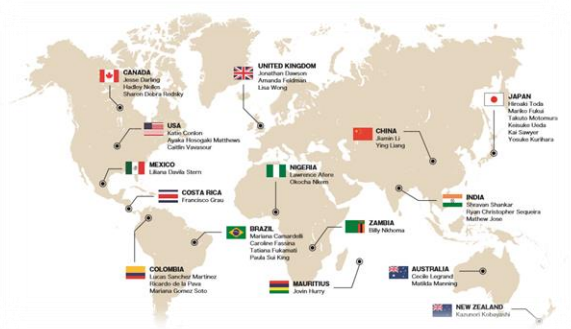
Year One (2020)： 4Revsシーズ発掘リサーチ＋グローバルサミット

① 4 Revsグローバル・リサーチ・プロジェクト

4Revsのグローバル・チームは、6大陸で活躍する若手の社会イノベーター、社会起業家、サステナビリティの実践者の情報収集力とネットワークを活用し、**4Revs関連の最も革命的かつ斬新なイニシアティブ、アイデア、事業案など（ビジネス・暮らしなど）を発掘し、整理する。**参加企業も直接参画できるダイナミックな双方向性リサーチ・プロジェクトとして展開する。

参加によって得られること

リサーチ・ギャザリングへの参加（双方向性のワークショップ形式）／4Revsリサーチ DBへのアクセス／キックオフおよび最終報告会への参加／アイデアの背景にいる人・組織とのコネクションなど



② 4 Revsグローバル・サミット（東京）

2020年夏、4Revsをメインテーマとするグローバル・サミットを東京にて開催する。世界6大陸からの社会イノベーター、社会起業家、サステナビリティの実践者、次世代リーダーが集い、**2日間にわたり多種多様な双方向性セッションを実施する。**4Revsに関わる「ピッチ・セッション」もその一部として実施予定。

参加によって得られること

4Revsに関するセミナーおよび双方向性ワークショップへの参加／4Revsのリサーチ・チームによって直接共有される研究成果＋それに関する議論／世界各地から来日する実践者・次世代リーダーとの生のやり取りとネットワーキング／他の参加企業のメンバーとの交流など

Project Outline

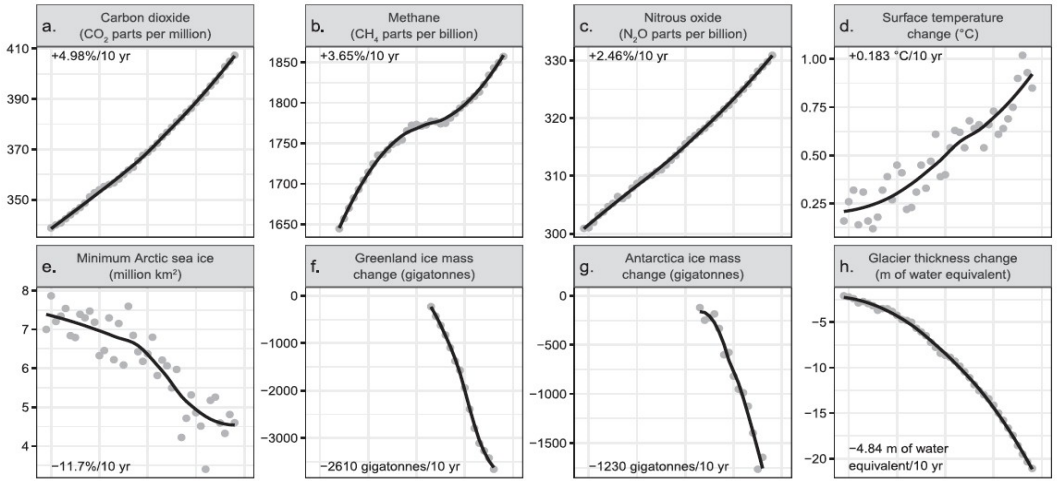
Year One (2020)： 4Revsインテリジェンス＋社内起業家育成

③ 4 Revsインテリジェンス（重要情報）

4Revsのそれぞれの分野における最新の科学的知見・データ等を集め、分かりやすく（リンクなどを通じて）共有する。また、可能な場合は、国際的なイニシアティブおよび学術機関との連携を図る。

活用によって得られること

4Revsに関わる最新情報の共有／重要な国際的なイベント（例： World Circular Economy Forum）による情報インプットや連携など、4Revs を取り巻く世界の重要情報への継続的なアクセス



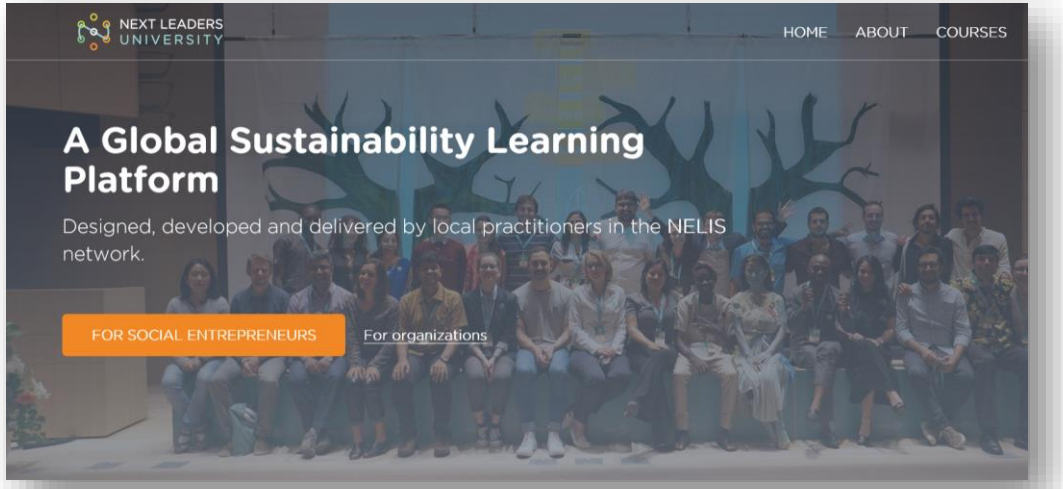
Source: BioScience

④ Next Leaders' University （学習プラットフォーム）

サステナビリティの「社内起業家」(イントラプレナー）育成

2020年4月から、**多種多様なサステナビリティ・トピックに関する12分間学習プログラムを提供し、初年度30モジュール**まで増やす。その後も、継続的にモジュールを増やす。これらの学習モジュールは、**NELISのネットワークに属する実践者・若手の社会イノベーターにより設計およびデリバー**される。4Revsに参加する企業には、このNLUショート・モジュールへのアクセス権が与えられる。

より本格的な学習モジュール（オンライン＋オフライン可）や、4Revsの個別テーマに焦点を当てたモジュール設計も可能（別途有料）



Project Outline
4Revsの進化—2050年までのロードマップ

2020
4月： プロジェクトローンチ／グローバル4Revsサミット w. NELIS ／ リサーチ・ギャザリング（双方向性）／2021年3月：最終報告会
継続的に（2021年以降も）： Next Leaders Universityの12分モジュールを活用し、サステナビリティ分野の社内起業家を育成する

2021
4月： イノベーション・チャレンジ開始 ／ 9月～ リージョナル・ブートキャンプ開催 ／ 2022年3月：イノベーション・チャレンジの終了

2022
4大陸で4Revsサミット開催 （北南米、欧州、アフリカ、アジア）／ 現地におけるエコシステム構築・パートナシップの深化

2025
4Revsは、人類の生存チャレンジに対して、新しい解決策を提供できる共創のエコシステムとして、広く機能し始めている
参加企業の協働による4Revs投資ファンドなど、協働的取組のさらなる促進を図っている

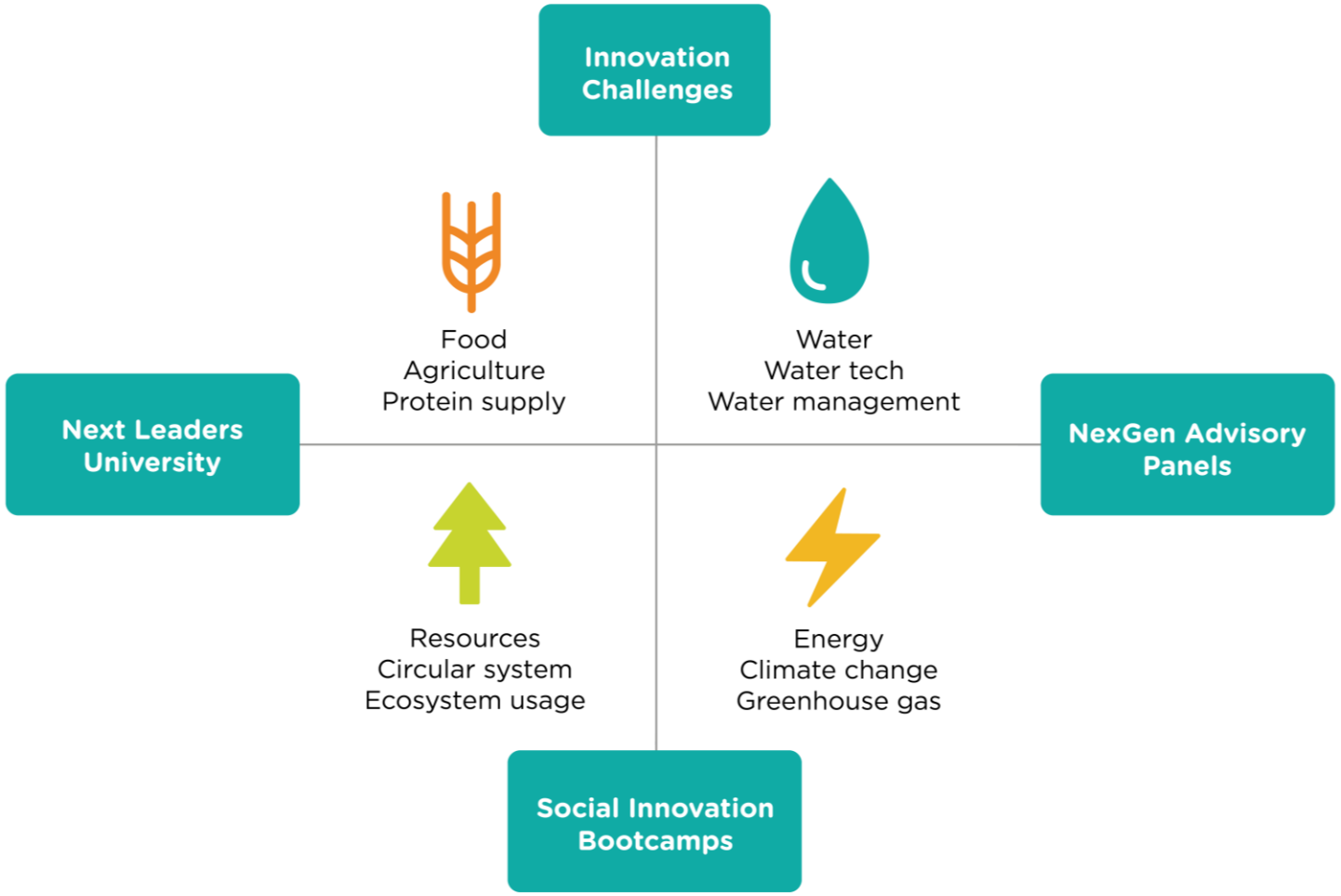
2030
4Revsは、SDGsなどへの貢献が世界的に認められ、世界におけるサステナビリティ・イノベーションの震源地の一つとなっている
企業の事業・機会発掘を広く支援しているのみならず、各地の社会起業家・社内イノベーターのエンパワーメントにも寄与している

2040
人類の4つの生存チャレンジを解決に導く革命的なイノベーションが世界各地に普及・加速し、社会・経済・ビジネスの根本的な再構築により、持続可能な未来に向けた道筋が見えつつある

2050
4つの生存チャレンジにおける主なメガトレンドは改善の兆しが鮮明になり、地球社会全体は持続可能な軌道に。4Revsは、その壮大な転換・変容に対して、顕著な貢献をしているプラットフォームやエコシステムとして、世界で広く認められている

Project Outline
随時: 4Revs 個別ツール（co-creative tools)

4Revsのエコシステムに参加する企業は、自社特有の課題やニーズに合わせ、4Revsの個別ツール（co-creative tools）を活用することができる（別途有料）。



イノベーション・チャレンジ
自社特有の個別テーマでイノベーション・チャレンジを実施する（募集をかける）

NexGenアドバイザリー・パネル
必要な専門性を有する世界の社会イノベーター（2名以上を想定）により構成されるパネルを通じて、特定課題への助言、アイデア提供などを行う（一定期間において）

ソーシャルイノベーションブートキャンプ
短期集中の合同版（3日間）、インハウス版、現地訪問を含んだオンサイトのブートキャンプなど、3つのパターンが選択できる。短期間のうちに、社会課題をR&Dや事業開拓の発掘に結びつける具体的な手法を習得できる

Next Leaders University (NLU)
4Revs参加企業には、無償にてショート・モジュール（12分）が提供されるが、より長い学習モジュールや、カスタマイズモジュールの提供も可能。社内起業家育成に活用できる

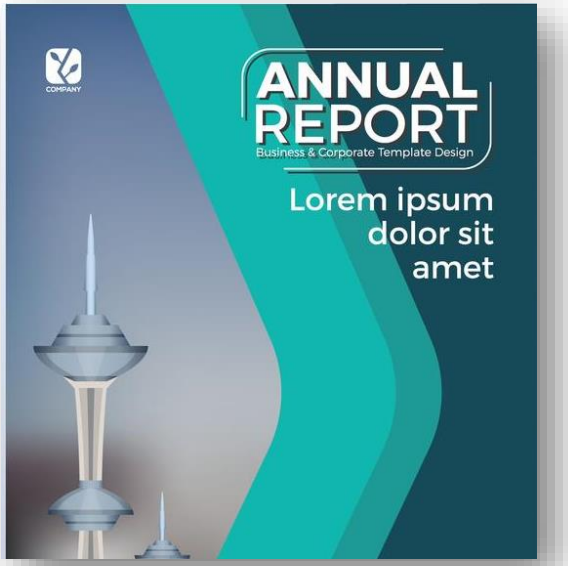
4Revs Co-creative Ecosystem　成果物（初年度）

初年度の主な成果物

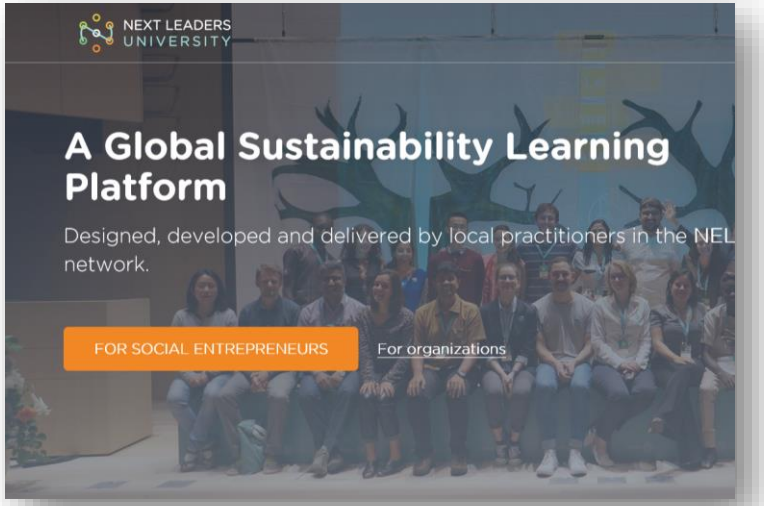
4Revs事例DB（英）
（事例は継続的に増加）

インテリジェンス情報

年間報告書（日英）
（2021年3月発行）



NLUショートコース
（初年度30コース）



4Revs Co-creative Ecosystem　参加方法と社内活用

社員4～8名（若手中心）を4Revsアンバサダーとして登録、活動に継続参加

4Revs Ambassadors

社会イノベーターと企業の協働による
Co-Creative Ecosystem

世界6大陸に跨る情報収集・イノベーション促進・協働の「創発的プラットフォーム」を通じて、4Revsのソリューションを多数生み出す

世界に埋もれている優秀な発想・提案を掘り起こし、若手の社会イノベーターをエンパワーし（スケールアップを図るなど）、広範囲な協働と共創により人類が抱える生存課題に対する新たな解決策を導き出す。

社内における（または、参加企業同士の）
Sustainable Innovation Community

4Revsアンバサダーが中心となり、得た知見を社内に共有し、社内のサステナビリティ・イノベーションの「有志連合」（SIC）を運営する

サステナビリティ・イノベーション・R&D関連部署の活性化と補強（世界の主たる社会課題を機会に転換する能力の向上）。他にないダイナミックなイノベーション・エコシステムへのアクセスと、若手社会イノベーターとのネットワーク構築

4Revs Co-creative Ecosystem　社内活用の2パターン（例）

社内におけるSustainable Innovation Community

4Revsアンバサダーが中心となり、得た知見を社内に共有し、社内のサステナビリティ・イノベーションの「有志連合」（SIC）を運営する

パターン1：　イノベーション喚起に主軸

- 4Revsアンバサダー（御社参加者）は、得た知見を経営企画部、R&D（イノベーション）担当部署、事業部門などと継続的に共有し、双方向の議論を主導する
- 4Revsアンバサダーは、具体的なテーマ（例えば「サーキュラーベンチャー事例」）について社内にイノベーション・ワークショップを開催し、年に一度、社長・担当役員向けの「成果発表会」を開催する
- 4Revsアンバサダーは、直接NELISメンバーや4Revs事例の事業者・ベンチャーなどとコンタクトを取り、必要に応じて招聘するか、現地訪問を行う

ゴールイメージ

４Revsアンバサダーは、世界の具体事例や科学的知見に対する知識を獲得するのみならず、主体的に、事業イノベーションのための提案・助言能力を備え、サステナビリティのイノベーション・リーダーとして活動できる

パターン2：　能力開発・人材育成に主軸

- 4Revsアンバサダー（御社参加者）は、得た知見を社内に広く発信し、セミナー・社内研修などを開催するNLUの学習プラットフォームの活用も広く促す
- 4Revsアンバサダー（御社参加者）は、得た知見をもとに、グループワークを通じて、サステナビリティ担当部門、経営企画、R&D（イノベーション）担当部門、事業部門などに対して、主体的に提案・助言する
- 4Revsアンバサダーは、社内若手を広く巻き込む社内ハッカソンなどを開催し、サステナビリティ・イノベーションに対する意識醸成とイノベーション喚起を行う

ゴールイメージ

４Revsアンバサダーは、世界の具体事例や科学的知見を自分なりに（またグループの議論を通じて）咀嚼し、自らの視野を広げるとともに、主体的に自社のサステナビリティ取組への提案能力を備え、活動できる

※上記2パターンは参考情報としての例示にすぎず、実際の活用方法は、参加企業にてご決定頂きます

4Revs Co-creative Ecosystem　主催団体の組織情報

名称	一般社団法人NELIS（ネリス） 次世代リーダーのグローバル・ネットワーク
英語名	NELIS – Next Leaders' Initiative for Sustainability
設立年月日	2015年1月30日
共同設立者	ピーター D. ピーダーセン　（代表理事／㈱イースクエア共同創業者） 秋村 田津夫　（設立理事／NPO法人アスクネイチャー・ジャパン理事） 山本 昌仁　（設立理事／たねやグループCEO、滋賀経済同友会代表幹事）
監事	川添 渉
住所	滋賀県近江八幡市北之庄町615番地1　ラ コリーナ近江八幡（たねやグループ本社内） 電話番号　0748-33-6666
ウェブサイト	www.nelisglobal.org
お問合せ	pdp@pdplab.jp　（代表理事　ピーター　D.　ピーダーセン）

NELISのグローバルネットワークについて

NELISは2015年、2017年、2018年、立命館大学および上智大学との協働により、日本で三回の次世代リーダーサミットを開催しているほか、ヘルシンキ大学やラゴス州立大学との協働により欧州サミット（1回）、アフリカサミット（2回）を開催している。それぞれの参加メンバーを中心に、現在世界33か国に跨る若手社会イノベーター（主に40歳未満）のコミュニティを形成、日本以外にナイジェリア、シンガポール、ウガンダで現地法人を設立、支部活動を展開。

NELISのメンバーが関わるサステナビリティのテーマは多岐にわたっている：
持続可能な森林経営、生態系の持続可能な管理、食糧、有機農業、パーマカルチャー、サーキュラー経済、プラスチック問題、都市計画、輸送、気候変動、エネルギー（創エネ、省エネ）、水、サステナブル・ファイナンスといった「ハード」なテーマに加え、次世代型リーダーシップ、アートを通じたコミュニケーション体験、子供のための環境教育、新しい学習・教育パラダイム、共感を通じた社会変革活動、非暴力コミュニケーション、社会起業家育成などといった「ソフト」な分野における知見を有するメンバーも多い。

機動性とネットワーク力が高く、既存NELISメンバーを通じて、新規のテーマでの若手社会イノベーターにもリーチできることが一つの特徴といえる。